すわ大昔フォーラム 諏訪市博物館・(一社)大昔調査会	第 11 回 (予告)	2020 年 2 月 8 日 (土) PM 1:30～

◇　日　時：　２０２０年２月８日(土) 13:30～15:00

◇　会　場：　諏訪市博物館 学習室　シリーズ諏訪湖②

◇　演　題：「諏訪湖底の狩人たち―曽根遺跡―」

諏訪湖底「曽根遺跡」は、明治 41 年からその存在が知られ、湖底より夥しい量の石鏃が引き上げられたことでも有名です。日本考古学史上でも名高い曽根論争の舞台ともなりました。縄文草創期の遺跡と考えられますが、その実態は長らく謎のベールに包まれていました。

講師を代表とする「曽根遺跡研究会」が、発見 100 周年を機にまとめた研究史や、講師自身が曽根遺跡の謎に挑んだ最新の研究成果についてお聞きします。

◇　講　師：　三上 徹也 先生

1956 年岡谷市生まれ。明治大学文学部(考古学)卒業、同大学院博士前期課程修了。長野県高等学校教員、長野県立歴史館専門主事等を歴任。現在は(一社)大昔調査会理事。第 10 回尖石縄文文化賞受賞。主な著作に『縄文土偶ガイドブック』(新泉社)、『諏訪湖底曽根遺跡研究 100 年の記録』(編著、長野日報社)、『人猿同祖ナリ・坪井正五郎の真実』(六一書房)。

■場　所　諏訪市博物館 学習室（諏訪市中洲171-2　諏訪大社上社本宮前）

■参加料：博物館入館料（一般 310 円）　○申込不要